



北方林の変化

北海道の北方針広混交林では、**針葉樹が減り、落葉広葉樹が増えている**ことが報告されています。一方で、**バイオマス量は増加**し続けています。演習林の**長期データ**を用いて、これらの現象を詳細に解析するとともに、**年輪**やその**安定同位体比**を合わせて解析することで、その原因の解明にも取り組んでいます。



枯死木の炭素蓄積

長野県北八ヶ岳の亜高山帯には、1959年の**伊勢湾台風**で倒れた倒木が今も大量に残っています。このように分解の遅い亜高山帯では、**倒れた木をそのままにしておくことに、長期的に炭素を蓄積する働きがある**ことがわかってきました。**枯死木の分解の早さ**がどのような要因によって変わるかなども研究することで、森林の**炭素収支をより正確に推定**することを目指しています。



亜高山帯林の動態

亜高山帯の長期的森林変化を研究しています。1959年の**伊勢湾台風後の森林回復過程**を明らかにしてきました。また、特定の環境の亜高山帯林で生じる「**縞枯れ現象**」が起きている森林（写真）の長期的変化やそれに与える台風の影響も明らかにしてきました。**今後予想される勢力の強い台風の襲来頻度の増加が生態系に与える影響**の解明を目指しています。